



検査センター職員を順次紹介していくコーナーです。私たちは「顔の見える検査センター」を目指しています。先生方のご意見・ご感想をぜひお聞かせ下さい。

♥ 149人目



ささき ふくみ
佐々木 福美
総務企画課
勤続 6か月

♥ 150人目



そうだ まゆみ
惣田 真由美
検査1科自動・生化学係
勤続 18年

気分一転

この4月に事務職で入所し、特定健診業務を担当しております。当初、複雑化された健診業務に戸惑いながら請求等をしていました。入所して半年が経ち、請求処理や返戻等落ち着いて処理することができるようになりました。

そのような中、最近、紅茶教室に足を運び、おいしい紅茶を作れるようになりました。世界で年間300万トン生産されるお茶の80%は紅茶であり、酸化発酵したものが紅茶ということを知りました。さらに茶葉を半発酵したものは烏龍茶、不発酵茶が緑茶と知り、思わぬ情報に驚きました。

紅茶の効能には、カフェインによる疲労回復、ストレスの解消、新陳代謝を活発にするなどの効果があると
 言われております。紅茶を
 おいしく飲んで暑さを
 乗り越えたいものです。



“異常値”でスイッチオン！

それまでずっと血液一般検査をしていた私が生化学検査部門へ異動してきたのが約3年前。当時は生化学部門の検査機器や検査項目の多さに、そして検体数の多さに驚きを隠せませんでした。そんな不安を抱えた私を先輩方が丁寧に指導してくれ、今日に至っています。すごく救われた気持ちでいっぱいです。

血液一般（形態学）部門では、顕微鏡を眺めながら、異常細胞が見つければ生化学部門と連携して疑われる疾患を探っていました。今は、生化学検査で異常が見つければ、血液一般検査の結果が気になります。そんな時は検査画面で確認し、考えながら作業を行うよう努めています。

また一方では、異常値（パニック値）を検出した場合は、必ずお電話させていただき、先生方が患者さんに迅速な対応がとれるよう、所内で体制を整えております。今後ともよろしくお願い致します。